

クリニカルパスウェイ 急性炎症の治療を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	入院1～3日目	入院4日目以降	退院日
日時	月 日	月 日	月 日 以降	月 日
目標		☐ 適切な治療を継続し、炎症の悪化を防ぎましょう	☐ 食事をとり、低栄養・脱水を改善させましょう ☐ 感染予防を図り、炎症の再燃を防ぎましょう	☐ 診察後退院となります
食事		☐ 喉の症状に応じて食事形態を考慮し提供します		
活動	☐ 制限はありませんが病態に応じてベッド上安静となります ☐ 辛いときは車椅子を使用します	☐ 医師の指示により安静となる場合があります		
検査 処置	☐ 採血、レントゲン、場合により心電図検査があります 	☐ 4階の耳鼻処置室で診察をします ☐ 採血をする場合があります ☐ 1日3回ネブライザー、うがい薬でうがいをします ☐ 必要に応じて心電図・SPO2モニターを装着します		☐ 退院後の外来予約をお受け取りください
薬	☐ 常用薬は医師の指示に従い内服してください 	☐ 病態に応じてステロイドホルモン、抗生剤、解熱鎮痛剤の点滴をします ☐ 食事摂取不良の場合は点滴を投与します		☐ 退院後、内服する薬がある場合は、病棟でお渡しします 
清潔		☐ 医師の指示によりシャワーは可能です ☐ シャワーが出来ない時は必要に応じて体拭きをお手伝いします		
指導 説明	<入院持参物品> ☐ 常用薬(7日分) ☐ お薬手帳 ☐ この説明書 ☐ 日常生活物品	☐ 看護師より病棟案内を行います ☐ うがい、手洗い、マスクの着用をし感染予防につとめましょう ☐ 痛み止めを使用するので、喉の痛みは我慢せず伝えてください ☐ 自覚症状(腫れや呼吸困難感など)がある際は速やかにお知らせください。	☐ 点滴の副作用として胃部不快感・むくみ・体重増加・吐き気・発疹・血圧上昇(動悸・頭痛)などがあります。症状がある時は看護師に知らせてください	<退院後の生活について> ・感染予防は継続してください ・喫煙は控えてください ・香辛料等、刺激物の摂取は控えてください ・発熱、喉の痛みが再燃した際はすぐに受診してください